

「すべての子どもの遊びを支えるために」

第1回シンポジウム 開催概要

1. 目的

高度な医療的ケアを必要とする子どもたちが、医療政策の変更により入院から在宅へと移行されている中で、医療、介護、福祉等の多様なサービスを利用しながら住み慣れた地域における支援が求められている。当法人ではこれまで病院で過ごすこどもにプレイ活動を提供する取り組みを行ってきたが、今後在宅で生活する子どもと家族にもその活動を提供する必要性を感じている。

その手がかりとして、遊育支援ワークショップの開催および家庭訪問活動を試験的に開始したが、医療ケア度の高い在宅の子どもたちの遊びを支えていくためには課題も多い。

今回 HPS 発祥である英国での在宅支援の現状をご講演頂き、日頃在宅支援にご尽力いただいている静岡県立こども病院の専門職の方々と交えながら、在宅での遊び支援の今後のあり方を模索する。

2. テーマ

在宅で生活する病気や障害のあるこどもたちの遊びを支えるために、多職種連携でできること

3. 期 日

平成 28 年 10 月 24 日（月） 18 時 30 分から 20 時まで

4. 会 場

静岡県立こども病院

5. 主 催

NPO 法人ホスピタル・プレイ協会 すべての子どもの遊びと支援を考える会

6. 参加費

無 料

7. 対 象

小児医療・児童福祉関係者、ホスピタル・プレイおよび遊び支援に関心をお持ちの方

8. 内 容

(1) 講演

(2) シンポジウム

9. プログラム (当日)

司会：浅野一恵
(社会福祉法人 小羊学園 つばさ静岡)

時間	内容	演者(敬称略)
18:00	開場・受付開始	
18:30	開会	
18:30-18:35	開会挨拶 (タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2015 事業説明)	松平 千佳 (静岡県立大学短期大学部 准教授・ HPS 養成事業責任者/NPO 法人ホスピタル・プレイ協会 理事長)
18:35-19:05	基調講演 英国におけるホスピタル・プレイと 在宅支援	Claire Hardy (英国・ノッティンガムこども病院 HPS)
19:05-19:55	シンポジウム	シンポジスト： 山内豊浩 (静岡県立こども病院 総合診療科医師) 鴨下賢一 (静岡県立こども病院 作業療法士) 稲員恵美 (静岡県立こども病院 理学療法士) 原との子 (訪問看護ステーション あおむし) 講評： Claire Hardy (英国・ノッティンガムこども病院 HPS) 通訳：松平千佳
19:55-20:00	まとめ・閉会挨拶	松平 千佳

10. 業務分担

- ・チラシ作成 (南)
- ・ホームページ・ブログでの開催告知 (南)
- ・参加受付 (杉山さん、こども病院 HPS)・名簿作成 (当日記入用のみ用意、南)
- ・資料印刷 70 部 (HPS 事務局)